

地球温暖化対策計画実施状況報告書(最終報告)の概要(公表用)

1 事業者の概要

法人名 代表者名	株式会社ベーシック 代表取締役 吉備 均	市内の 主たる住所	相模原市中央区下九沢65-1
主たる事業 の内容	日用雑貨品等の組立・梱包・包装及び発送作業		

2 計画期間

令和 5 年度 ~ 令和 7 年度

3 計画年度における温室効果ガスの排出の状況

基準年度 排出量	70.5 t-CO ₂	計画最終年度 排出量	56.0 t-CO ₂
計画最終年度 排出削減量	14.5 t-CO ₂	計画最終年度 排出削減率	20.6 %
(原単位を設定した場合)計画最終年度の原単位排出量削減率			%

4 計画年度における温室効果ガスの排出の状況に関する説明

2023年・2024年と2年にわたるLED照明設備交換工事により、基準年度と比較して、最終年度は14.5t-CO ₂ 排出量削減を削減することができた。

5 温室効果ガスの排出の抑制等を図るために実施した措置の内容【計画書記載事項】

対象年度	措置の内容	実施状況
令和5、6年度	蛍光灯および水銀灯から高効率照明設備へ更新	実施済
令和5～7年度	エリアごとに点灯スイッチを設けての間引き、こまめな消灯(運用改善)	実施済
令和5～7年度	一部空調の温度設定の見直しと自動温度変更機能の利用 (冷房設定において、温度設定を変更しても30分たったら基準温度24度に戻る設定)	実施済
令和7年度	休憩室空調のタイマー機能を利用し無駄なく使用する。(運用改善)	実施済

6 計画内容の進捗状況に関する説明

令和5～6年にかけて、2事業所にてLED照明工事を実施、区画ごとのこまめな消灯、空調の自動調節やタイマー機能の利用などの節電活動を継続して行う。運用改善を続けた結果、従業員にも省エネ活動の意識が根付き、最終結果としては電力使用量は基準年度より20.4%削減につながった。 ガスの使用に関しては、ガス暖房使用時期にサーキュレーターを併用して暖房効率が上がるよう工夫した。 電気使用量の削減とガス使用量ともに省エネ活動を行った結果、温室効果ガスの排出量を20.6%削減にすることができた。
--

7 その他、計画期間に実施した地球温暖化対策の推進に寄与する取組等

(1)電動車(電気自動車やプラグインハイブリッド車など)の購入を検討(購入時都度) (2)省エネルギー型家電や機器の購入を検討(購入時都度) (3)地域社会との協働による環境保全活動の推進(従業員へ呼びかけ年に1～2度物資寄付の実施) (4)地域社会及び従業員への環境教育や啓発活動の実施 (FSC認証・マーク製品に関する啓発・身近なりサイクルによる環境汚染・温暖化予防への啓発) (5)地域社会との情報交換や意見交換の場を設けることで、地域社会と連携した取り組みを推進 (市主催のイベントやSDGsパートナーの他社との協力体制の構築)
--